

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成31年(2019)1月10日

No. 133

発行 高津啓洋

2019年謹賀新年



プエルトカナンで初日の出

2019年あけましておめでとうございます。パラグアイのレダを中心として、地球の緑を守る会の植樹活動も20年を数えるようになりました。

レダはちょうど真夏の季節で、気温は40度を超えることも多くあります。またひとたび雨が降ると、草や木々は一気に成長します。植樹活動は、3年間はずる草や、雑草との戦いが続きます。

広大なニームの森は、草刈との追いかっここのようです。そして、刈り取られた草は、いい堆肥

となり、さらに土地の乾燥を防いでくれます。

パラグアイのレダ基地を中心に、パラグアイ国全体で9万本近い植樹活動を展開してきました。南部の諸都市では、市や学校挙げて奉仕隊の訪問に合わせて、毎回5千本の苗木提供と植樹をしてきました。

レダの森見学ツアー

レダでは、初期からの記念植樹

さらにはニーム等の有用樹を中心に、400本ずつの森を作ってきました。今回、見学ツアーを、一般社団法人の南北米福地開発協会と協賛してレダ開拓20周年合同のツアーを企画しています。期間は7月27日から8月10日を予定しています。(現在ツアー費用は48万前後を予定しています。)



きれいになったニーム植樹地域



トラクターが活躍

進む植樹地の整備

レダ開拓20周年を迎えようとするレダ地域では、現地在住の伊達勝見事務局長を中心に植樹地の整備が進められています。

灼熱のレダでは、草刈りも大変で、今まで使っていたトラクターにつける草刈り用のディスクが耐用年数を迎えているために歯の切れ味が悪く大変です。

今年の植樹地域整備のために、新しい草刈り用のディスクをアスンシオンに注文しています。今日までの継続的な皆様方からのご支援に感謝致します。



細かい作業は人海での作業となります

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成31年(2019)1月10日

No. 133

発行 高津啓洋

2019年謹賀新年



プエルトカナンで初日の出

2019年あけましておめでとうございます。パラグアイのレダを中心として、地球の緑を守る会の植樹活動も20年を数えるようになりました。

レダはちょうど真夏の季節で、気温は40度を超えることも多くあります。またひとたび雨が降ると、草や木々は一気に成長します。植樹活動は、3年間はずる草や、雑草との戦いが続きます。

広大なニームの森は、草刈との追いかっここのようです。そして、刈り取られた草は、いい堆肥

となり、さらに土地の乾燥を防いでくれます。

パラグアイのレダ基地を中心に、パラグアイ国全体で9万本近い植樹活動を展開してきました。南部の諸都市では、市や学校挙げて奉仕隊の訪問に合わせて、毎回5千本の苗木提供と植樹をしてきました。

レダの森見学ツアー

レダでは、初期からの記念植樹

さらにはニーム等の有用樹を中心に、400本ずつの森を作ってきました。今回、見学ツアーを、一般社団法人の南北米福地開発協会と協賛してレダ開拓20周年合同のツアーを企画しています。期間は7月27日から8月10日を予定しています。(現在ツアー費用は48万前後を予定しています。)



きれいになったニーム植樹地域



トラクターが活躍

進む植樹地の整備

レダ開拓20周年を迎えようとするレダ地域では、現地在住の伊達勝見事務局長を中心に植樹地の整備が進められています。

灼熱のレダでは、草刈りも大変で、今まで使っていたトラクターにつける草刈り用のディスクが耐用年数を迎えているために歯の切れ味が悪く大変です。

今年の植樹地域整備のために、新しい草刈り用のディスクをアスンシオンに注文しています。今日までの継続的な皆様方からのご支援に感謝致します。



細かい作業は人海での作業となります